

令和 5 年度

運営に関する計画



大阪市立東桃谷小学校

令和 5 年 4 月

大阪市立東桃谷小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 学校生活ではきまりをよく守りよい生活習慣が定着してきている。互いの違いを認め合い思いやりのある活動が増えてきている。家庭生活も含め、基本的な生活習慣の確立と変化する社会に対応し、力を発揮できる子どもの育成に努める。
- 「主体的・対話的で深い学び」を実現する教科指導を追求し、研鑽に努めている。また、研究・研修活動を充実させ、日々の教科指導の質の向上を図ってきていることにより、児童の学習意欲の向上も見られるようになってきている。すべての教科において、児童が学習意欲を高め、学びを深める取組を進める。
- 全教科にわたり個に応じた課題をもたせた課題解決学習を進めるとともに、互いに意見交流する中で学びを深めていくため、多様な表現力の育成を図っていく。
- 運動環境の整備に努めた結果、運動場で活発に遊ぶ児童が増えた。より質の高い体育科指導を推進していくとともに、運動環境の改善を図る。
- ICT環境を整え、積極的に活用している。さらに効果的な活用を研究し、学習意欲の向上や豊かな心の醸成を図っていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の学校生活アンケート調査(児童)で、「学校へ行くのが楽しい」の項目に対し、「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の学校生活アンケート調査(児童)で、次の項目について「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
 - ・「進んであいさつしようとしている」
 - ・「友達を大切にし、なかよくしている」
 - ・「たてわり班の集会活動は楽しい」
 - ・「いじめをしていないし、していたら注意する」
 - ・「学校のきまりを守るようにしている」
- 令和7年度の学校生活アンケート調査(保護者)で、次の項目について「とても思う」「思う」と回答する保護者の割合を90%以上にする。
 - ・「学校は安全対策や安全指導に取り組んでいる」
- 自尊感情の育成を図り、令和7年度の小学校学力経年調査の次の項目について、肯定的な回答をする児童の割合が目標を上回るようにする。
 - ・「自分にはよいところがあると思いますか」80%以上
 - ・「去年の自分と比べ、自分に成長したところがあると思いますか」90%以上

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和8年度実施の全国学力学習状況調査におけるすべての項目で、全国平均を上回る。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、令和3年度(99.725点)より向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における国語及び算数の平均正答率で、全国の平均を上回る。

- 令和 7 年度実施の全国体力・運動能力調査で、体力合計点が男女とも全国平均値を上回る。(5 年生)
- 自らの健康に関心をもち、健康的な生活を実践しようとする態度を定着させる。
(歯磨き、よい姿勢、衛生的な生活習慣等)
- 校内の研修・研究活動を充実させるとともに、校外の研修・研究活動に進んで参加し、その成果を日々の指導に活かす。

【学びを支える教育環境の充実】

- 教科指導の中で I C T 機器やデジタル教材を効果的に活用するとともに、自学自習に学習者用端末を活用したり、家庭学習での I C T 機器の活用を推進したりする。
- 「心の天気」「いじめアンケート」「相談機能」等の活用により、児童の心の状態や日々の生活の状況を可視化し、児童理解を深めるとともに、迅速な問題解決を図る。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に基づき、長時間勤務の解消を図るなど、教職員の負担軽減を行う。
- 一人一人の多様な発達段階に応じた児童の読書環境を整備・充実するとともに、大阪市立図書館や学校司書との連携を深めることにより、児童のよりよい読書習慣を形成する。
- 「はぐくみネット」等、地域や関係諸団体との連携により、学校教育活動への支援の充実を図る。学校の美化、登下校の見守り、学習への支援、学校行事への協力等、保護者や地域との協働による教育活動を推進する。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 83%以上にする。
(令和 4 年度 82.4%)
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
(令和 3 年度 2.63%⇒令和 4 年度 1.69%)
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
(令和 4 年度末において、令和 3 年度不登校児童改善率 100%)

学校園の年度目標

- 学校生活アンケート調査（児童）で、「学校へ行くのが楽しい」の項目に対し、「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を 85%以上にする。(令和 4 年度 91.3%)
- 学校生活アンケート調査（児童）で、次の項目について、「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を 90%以上にする。
 - ・「進んであいさつしようとしている」 (令和 4 年度 95.7%)
 - ・「いじめをしていないし、していたら注意する」 (令和 4 年度 98.7%)
 - ・「学校のきまりを守るようにしている」 (令和 4 年度 96.5%)
- 大阪市小学校経年調査または学校生活アンケート調査（児童）で、「自分にはよいところがある」の項目に対し、「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を 75%以上にする。
(令和 4 年度 92.2%)
- 大阪市小学校経年調査または学校生活アンケート調査（児童）で、「去年の自分と比べ、自分に成長したところがある」の項目に対し、「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を 85%以上にする。
(令和 4 年度 93.9%)
- 学校生活アンケート調査（保護者）で、「学校は安全対策や安全指導に取り組んでいる。」と回答する保護者が 90%以上になるようにする。
(令和 4 年度 97.4%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 60%以上にする。(令和 4 年度 58.6% ※大阪市 39.4%)
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント向上させる。

(令和 4 年度) 国語 - 現 4 年生 1.02、現 5 年生 1.04、現 6 年生 1.10
算数 - 現 4 年生 1.05、現 5 年生 1.07、現 6 年生 1.07

- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
(令和 4 年度 87.5%)

- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。 (令和 4 年度 89.2%)
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 80%以上にする。 (令和 4 年度 77.2%)

学校園の年度目標

- 学校生活アンケート調査（児童）で、次の項目について「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を 85%以上にする。
 - ・「学校の勉強は分りやすい」 (令和 4 年度 97%)
 - ・「授業では、進んで発表したり、友だちの意見をよく聞いたりしている」 (令和 4 年度 94.8%)
- 良い姿勢を意識づけ実践することにより、学校生活アンケート調査（児童）で、「良い姿勢で過ごすよう気をつけている。」と肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。 (令和 4 年度 90.5%)
- 学校生活アンケート調査（児童）で、次の項目について「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を 90%以上にする。
 - ・「体育の学習は楽しい」 (令和 4 年度 91.8%)
 - ・「スポーツや運動遊びが好きだ」 (令和 4 年度 90.5%)
- 英語タイムや外国語活動・英語学習を充実させることにより、英語に親しみ、英語の活動を楽しむ児童を増やす。 (増加傾向である)

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- ICT機器を活用した授業・学習活動を 1 日 1 回以上行う。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 2 を満たす教員の割合を 60%以上にする。 (令和 4 年度 72.2%)

(基準 2) ア 1 年間の時間外勤務が 720 時間を超えないようにすること
 イ 1 か月の時間外勤務が 45 時間を超える月を 1 年間に 6 カ月までとすること
 ウ 1 か月の時間外勤務時間が 100 時間を超えないようにすること
 エ 連続する複数月（2 カ月、3 カ月、4 カ月、5 カ月、6 カ月）のそれぞれの期間について、時間外勤務時間の 1 か月あたりの平均が 80 時間を超えないようにすること

学校園の年度目標

- 学校生活アンケート調査（児童）で、「本を読むのが楽しい」の項目に対し、「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を 85%以上にする。 (令和 4 年度 91.4%)
- 学校生活アンケート調査（児童）で、「PTA や地域行事に参加している（PTA や地域行事があれば参加したい）」と肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。 (令和 4 年度 87%)
- 地域との連携を十分に図り、教育活動の充実につなげる。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立東桃谷小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標 (小・中学校)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 83%以上にする。 (令和 4 年度 82.4%)</p> <p>○ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 (令和 3 年度 2.63%⇒令和 4 年度 1.69%)</p> <p>○ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 (令和 4 年度末において、令和 3 年度不登校児童改善率 100%)</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○ 学校生活アンケート調査 (児童) で、「学校へ行くのが楽しい」の項目に対し、「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を 85%以上にする。 (令和 4 年度 91.3%)</p> <p>○ 学校生活アンケート調査 (児童) で、次の項目について、「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を 90%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「進んであいさつしようとしている」 (令和 4 年度 95.7%) ・「いじめをしていないし、していたら注意する」 (令和 4 年度 98.7%) ・「学校のきまりを守るようにしている」 (令和 4 年度 96.5%) <p>○ 大阪市小学校経年調査または学校生活アンケート調査 (児童) で、「自分にはよいところがある」の項目に対し、「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を 75%以上にする。 (令和 4 年度 92.2%)</p> <p>○ 大阪市小学校経年調査または学校生活アンケート調査 (児童) で、「去年の自分と比べ、自分に成長したところがある」の項目に対し、「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を 85%以上にする。 (令和 4 年度 93.9%)</p> <p>○ 学校生活アンケート調査 (保護者) で、「学校は安全対策や安全指導に取り組んでいる。」と回答する保護者が 90%以上になるようにする。(令和 4 年度 97.4%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>年 3 回「いじめに関するアンケート」を実施するとともに、日々の教職員間の情報共有や保護者との密な連携により、いじめの早期発見・早期解決を図る。児童同士のトラブルについても早期発見、相談しやすい雰囲気、環境づくりをしていく。</p> <p style="text-align: right;">(1-1 いじめへの対応)</p> <p>指標 年度末の「校内いじめに関する調査」において、学校で認知したいじめについての解消率 95%を維持する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>校内の安全対策の強化に努めると共に、児童の安全に対する意識を高める。</p> <p style="text-align: right;">(1-5 防災・減災教育の推進、1-6 安全教育の推進)</p> <p>指標 安全教室や避難訓練等、様々な災害等を想定した防災・減災学習を計画的に実施する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 2、豊かな心の醸成】</p> <p>年間指導計画に基づき、児童が多面的・多角的に考える道徳授業を展開するとともに、研修会等を実施し、各教科・領域、特別活動等との連携を図った道徳教育を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(2-1 道徳教育の推進)</p> <p>指標 各学級の実践を学び合う場の設定や指導法についての研修会を実施する。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向 2、豊かな心の醸成】</p> <p>児童の自尊感情を育成するため、めあてをもって取り組み、達成感を感じる教育活動を計画的に実施する。</p> <p style="text-align: right;">(2-1 道徳教育の推進) (2-2 キャリア教育の充実)</p> <p>指標 ・児童が達成感と自らの成長を感じる振り返りを行う。 ・キャリアパスポートを効果的に活用する。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向 2、豊かな心の醸成】</p> <p>情操を豊かにすることをめざし、観劇・吹奏楽等の芸術鑑賞を計画的に実施する。</p> <p style="text-align: right;">(2-2 キャリア教育の充実)</p> <p>指標 児童の鑑賞後アンケートでの満足度を 80%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向 2、豊かな心の醸成】</p> <p>企業や団体の協力による職業講話や職場見学、校外体験学習などを行い、学んだことが次に生かせる系統立てたキャリア教育を進める。</p> <p style="text-align: right;">(2-2 キャリア教育の充実)</p> <p>指標 児童アンケートで肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立東桃谷小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標 (小・中学校)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 60%以上にする。 (令和 4 年度 58.6% ※大阪市 39.4%)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント向上させる。 (令和 4 年度) 国語 - 現 4 年生 1.02、現 5 年生 1.04、現 6 年生 1.10 算数 - 現 4 年生 1.05、現 5 年生 1.07、現 6 年生 1.07</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。(令和 4 年度 87.5%)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「外国語 (英語) の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。(令和 4 年度 89.2%)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「運動 (体を動かす遊びを含む) やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 70%以上にする。(令和 4 年度 77.2%)</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○ 学校生活アンケート調査 (児童) で、次の項目について「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を 85%以上にする。 ・「学校の勉強は分りやすい」(令和 4 年度 97%) ・「授業では、進んで発表したり、友だちの意見をよく聞いたりしている」(令和 4 年度 94.8%)</p> <p>○ 良い姿勢を意識づけ実践することにより、学校生活アンケート調査 (児童) で、「良い姿勢で過ごすよう気をつけている。」と肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。(令和 4 年度 90.5%)</p> <p>○ 学校生活アンケート調査 (児童) で、次の項目について「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を 90%以上にする。 ・「体育の学習は楽しい」(令和 4 年度 91.8%) ・「スポーツや運動遊びが好きだ」(令和 4 年度 90.5%)</p> <p>○ 英語タイムや外国語活動・英語学習を充実させることにより、英語に親しみ、英語の活動を楽しむ児童を増やす。(増加傾向である)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 各教科における児童の興味・関心、学習意欲を向上させる。 (4-1 言語活動・理数教育の充実(思考力・判断力・表現力等の育成))</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字検定(4・6年)、日本語検定(3・5年)を計画的に実施する。 ・小学校学力経年調査において、各教科【国語・社会・算数・理科・外国語(英語)】の勉強が好きだと回答する児童の割合を70%以上にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 明確な課題意識をもたせ、「主体的・対話的で深い学び」の学習を展開する。 (4-2 「主体的・対話的で深い学び」の推進)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究主題に基づいた研究授業・公開授業・研修会を計画的に行う。 ・「主体的・対話的で深い学び」に関する教員アンケートを定期的の実施し、日々の授業の振り返りを行い、教員の指導力向上に繋げる。 ・小学校学力経年調査において、「めあて(ねらい)」「ふりかえり」「意見交流」の項目に対して、肯定的な回答をする児童の割合を大阪市の平均以上にする。 	
<p>取組内容③【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 C-NETや中学校教員と連携して外国語活動・英語学習を充実させ、研修会等を実施し教員の指導力を向上させる。 (4-3 英語教育の強化)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の英語タイムや外国語活動・英語学習を年間計画に基づいて確実に実施する。 ・ふりかえりアンケートにおいて、肯定的に回答する児童を80%以上にする。 	
<p>取組内容④【基本的な方向 5、健やかな体の育成】 体育科学習、体育的活動、休み時間・放課後の遊びなど、子どもの体力・運動能力を向上させる取り組みを充実させる。 (5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が運動に取り組みやすい環境を整える。 ・「クラス遊び」「たてわり遊び」を定期的・計画的に実施する。 ・児童が体力向上に取り組む活動を設定する。 	
<p>取組内容⑤【基本的な方向 5、健やかな体の育成】 姿勢についての意識を向上させ、よい姿勢を保持できるような取り組みを行う。 (5-2 健康教育・食育の推進)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「姿勢週間」に毎学期取り組む。 ・毎学期の「姿勢週間」での振り返りにおいて、「1週間よい姿勢を心がけた」の項目に肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立東桃谷小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <p>○ ICT機器を活用した授業・学習活動、教育活動を1日1回以上行う。</p> <p>○ 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する<u>基準2</u>を満たす教員の割合を60%以上にする。(令和4年度 72.2%)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(基準2) ア 1年間の時間外勤務が720時間を超えないようにすること</p> <p>イ 1か月の時間外勤務が45時間を超える月を1年間に6カ月までとすること</p> <p>ウ 1か月の時間外勤務時間が100時間を超えないようにすること</p> <p>エ 連続する複数月(2カ月、3カ月、4カ月、5カ月、6カ月)のそれぞれの期間について、時間外勤務時間の1か月あたりの平均が80時間を超えないようにすること</p> </div> <p>学校の年度目標</p> <p>○ 学校生活アンケート調査(児童)で、「本を読むのが楽しい」の項目に対し、「とても思う」「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。(令和4年度 91.4%)</p> <p>○ 学校生活アンケート調査(児童)で、「PTAや地域行事に参加している(PTAや地域行事があれば参加したい)」と肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。(令和4年度 87%)</p> <p>○ 地域との連携を十分に図り、教育活動の充実につなげる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6、教育 D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 P C、学習者用端末（タブレット端末）、大型モニター、デジタル教材などの I C T 機器を活用した教育をより効果的に推進していくために、ICT 研修会等を行う。 (6-1 ICTを活用した教育の推進)</p> <hr/> <p>指標 ・ I C T 機器の効果的な使用方法について共通理解する場を設ける。 ・ 学習者用端末の使用場面を工夫し、効果的に活用する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 業務の効率化を図るとともに、長時間勤務解消へ向けた具体的な取り組み（業務の精選・見直し）を図っていく。 (7-1 働き方改革の推進)</p> <hr/> <p>指標 長時間勤務の状況を昨年度より改善する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 8、生涯学習の支援】 「読書タイム（朝の学習タイム）」や図書館開放を活用するとともに、大阪市立図書館や学校司書との連携により、読書に親しむことができるようにする。 (8-2 「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組)</p> <hr/> <p>指標 ・ 図書館開放を継続して行うとともに、図書放送委員会の活動の工夫や地域図書館からの団体利用を活用する。 ・ 調べ学習など、各教科の学習に学校図書館の活用を図る。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向 9、家庭・地域と連携・協働した教育の推進】 地域や関係諸団体と連携し、教育活動への支援体制を強化する。 (9-1 教育コミュニティづくりの推進、9-2 地域学校協働活動の推進)</p> <hr/> <p>指標 学校の美化・緑化、登校時の見守り、学習や学校行事等への支援を要請し、教育活動の充実を図る。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	